

◎日 時 平成27年8月28日（金）午後2時00分～午後2時50分
◎場 所 北見市役所 北2条仮庁舎 3F 庁議室
◎出席者 会議委員：辻会長、高橋副会長、山村委員、佐藤（忠）委員、松田委員、
佐藤（浩）委員、広川委員、桑原委員、長南委員、久原委員、
平森委員、高畑委員、佐藤（隆）委員、志賀委員
北海道開発技術センター：芝崎氏
事務局：船戸企画財政部次長、田中地域振興課長、
杉浦地域交通係長、海辺主事補

開 会

辻会長： 皆さん、大変お忙しい中ご苦労さまです。

ご案内の時刻がまいりましたので、ただいまから平成27年度第3回北見市地域公共交通会議を開催いたします。開会にあたり、改めて挨拶を申し上げたいと思います。

本日は大変お忙しい中、第3回北見市地域公共交通会議にご出席を賜りましてありがとうございます。さて、本日の新聞報道にありましたが人口減少社会を迎える中で、北見の明日をつくる具体的なまちづくり戦略として掲載されていた北見市総合戦略案が北見市地方創生総合戦略策定委員会によりまとめられ、昨日、市に答申がされたところです。答申書を拝見すると、北見市総合戦略において4つの基本目標が掲げられ、そのひとつ「確かな暮らしを支える安心なまちをつくる」の項目では住みやすい・暮らしやすい生活環境の充実にあたり、市民の交通手段の確保、特に市民の足となる公共交通ネットワークの重要性について取り上げられています。この答申については、今後、パブリックコメントなどを経て成案化され、北見のまちづくりの具体的な施策として執り進められていくこととなりますが、市民の暮らしを支える地域交通機能づくりにおいては当地域公共交通会議の役割が極めて大きくなっていますので、今後とも委員の皆様にはご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

それでは、私の方で議事の進行にあたらせていただきます。会議の成立について事務局からお願いします。

田中課長： 本日の出席委員数は18名中14名です。北見市地域公共交通会議設置要綱第6条第2項の規定に基づき半数以上の出席がありますので、本日の会議が成立することをご報告申し上げます。なお、香川委員、高橋委員、池田委員、小林委員につきましては欠席する旨の連絡を受けております。

4. 報告事項（1）公共交通利用促進について ～子供を対象とした利用促進策について～

辻会長： ありがとうございます。

それではお手元の次第に沿って進めていきます。4の報告事項です。（1）「公共交通利用促進について」を議題とさせていただきます。初めに「子どもを対象とした利用促進策について」事務局より説明をお願いします。

芝崎氏：北海道開発技術センターの芝崎です。私の方から「公共交通利用促進策について～子どもを対象とした利用促進について～」資料1、資料1-2により説明させていただきます。

資料1の1ページ目にイベントの概要があります。「第62回北見ぼんちまつり」にて子どもを対象としたバス利用促進策を実施しました。ぼんちまつりの開催期間は7月17日～7月19日で、最終日の10時～15時の時間帯で開催させていただきました。実施内容は大きく7項目で、1つ目が「交通すごろく」、2つ目が「交通ぬりえ」、3つ目が「交通クイズ大会」、4つ目が「バスの乗り方教室」、5つ目が「なりきり写真撮影」、6つ目が「バスの利用者抽選会」、7つ目が「アンケート調査」です。それぞれの報告につきましては後ほど詳細を説明させていただきます。

2ページ目に会場図があります。北見芸術文化ホール横特設会場にてブースを設けさせていただきました。左下の写真ですが、会場にはテント1基、路線バス1台、また都市間バスとの連携もあり、こちらの車両も1台という形で会場を設けました。

3ページ目から実施内容の報告です。まず「交通すごろく」です。道の駅おんねゆ温泉～常呂までバス路線がマスとなっているすごろくで、車とバスの賢い使い方を学ぶ内容となっています。体験者は15回ほどゲームをして各5名くらいの参加があり、全75名となっています。

4ページ目は「交通ぬりえ」です。小さなお子さんを対象に実施させていただきました。北見バス・特急オホーツク・タクシーのぬりえの台紙を用意し、好きな色に塗っていただきました。体験人数は特急オホーツクが23名、タクシーで25名、北見バスさんが35名の計83名の子どもさんに楽しんでいただきました。

5ページ目は「交通クイズ大会」です。北見の公共交通の豆知識を楽しみながら学ぶということで、北見バス・ハイヤー・JRなどに関するO×クイズを実施しました。優勝者にはバスグッズなどが当たる商品をご用意させていただきました。参加人数は1回目が33名、2回目が53名、3回目が41名で、計127名の皆さんご参加をいただきました。

6ページ目は「バスの乗り方教室」です。北見バスさんの路線バス車両を会場に持ってきていただき、ICカードを使った乗り方や乗車時のマナーを学んでいただきました。参加賞としてお子様にバスのICカード500円分をお渡しし、今後バスを使っただけのようPRさせていただきました。実施回数は6回で、1回目が10名、2回目が8名、3回目が8名、4回目が9名、5回目が8名、6回目が8名で、毎回10名弱の方に参加をいただきました。参加人数は子どもの人数なので、親御さんの人数は入っていません。参加したお子様の年齢・性別を左側で紹介させていただいています。年齢層が低いお子様が多い状況でした。参加者の住所については北見自治区の方がほとんどでして、市外の方にも何名かご参加をいただきました。

7ページ目は「なりきり写真撮影」です。子ども用北見バス乗務員の制服と帽子に着替えてもらい、運転席に乗り、乗務員になりきって写真撮影ができるというものです。こちらも大変好評で、多数のご参加をいただきました。

8ページ目が「バスの利用者抽選会」です。当日、体験ブースにバスを利用して来場される方を対象に、バス車内で乗車証明書抽選券というものを運転士さんから配布していただき、その券を体験ブースにお持ちいただければバスグッズが当たる抽選に参加できるということを実事前告知により実施しました。参加人数は15グループ25名で、小学校低学年の方が11名、さらに小さい幼児の方が10名、小学校高学年の方が4名でした。乗車したバス停又は居住地

で、最も多いのが「三輪」、次に「緑ヶ丘」という順でした。

9ページ目は「アンケート調査」です。今年初めて実施したものです。親御さんに対し子ども向けバス体験ブースに関するアンケートを実施しました。詳細について別紙、資料1-2をご覧ください。アンケートの回収人数は41名で、女性の方が68.3%、男性が31.7%でした。年齢については、30代の方が最も多く58.5%、次に40代。住所については北見市内が最も多い状況で、市外については興部町や紋別市から来られた方もいらっしゃいました。

右側のページの「職業・就業の状況」で最も多いのが「会社員・公務員」で51.2%、次に「主婦・主夫」で22%、3番目に多いのが「パート・アルバイト」で17.1%ということですので働く若い世代の方が多かったということです。免許の保有状況では82.9%が普通免許を所有しており、自動二輪を含めると9割以上の方が免許を保有している状況です。働く若い世代ということもあり保有状況は高く、1世帯に対して2台の車を保有しているのが61%、次に1台で26.8%で8割近い方が車を保有しており、「家族共用」が46.3%、「自分専用」が22%いらっしゃいました。「普段、バスを利用されますか」という設問においては「ほとんど利用しない」という方が65.9%、「たまに利用する」という方が24.4%で、普段から利用する方は少ないという状況でした。

「ぼんちまつりには、どのように来られましたか」という設問については、「自動車（運転）」という方が51.2%、「自動車（同乗）」という方が17.1%で、7割近い方が自家用車で来られており、「路線バス」で来られた方が14.6%という状況でした。「参加された目的はなんですか」ということで、7番「バスが停車しているのが見えたから」の16票が最も多く、イベント会場に訪れた際にバスが停車しているのを見て立ち寄っていただいたのが一番多かったです。次に多いのが「バスの乗り方教室に参加するため」で、バスの乗り方教室に参加したくて来られた方も25%いらっしゃったという状況でした。

バスの体験ブースの認知度について、「ぼんちまつりにバス体験ブースがあることを知っていましたか」という設問に対し、「知っていた」が65.9%、「知らなかった」が34.1%で、6割以上の方が知っていたということでした。「バス体験ブースがあることを何で知りましたか」という設問で、「チラシ・広告」が44.4%、「車内広告」が18.5%でバス車内にイベント情報のポスターを掲示していただいたので、そちらの方で知っていただいたということです。また、「チラシ・広告」については、いくつかの媒体に北見バスさんの方で広告を掲載していただき、情報を周知しました。もしかすると広報きたみに折り込みをしたニュースレター（交通だより）をチラシとして捉えて回答した方がいらしたのかもしれないです。「バス体験ブースの満足度」については、「とても満足」が53.7%、「やや満足」が24.4%、一方、「とても不満」が12.2%で5名の方が回答されていますが、個別の調査票をみると「この後もこのイベントに参加したい」と回答されているので、「とても不満」と「とても満足」を間違えて回答されている可能性があると思われます。

「今後、バスを利用しようと思いませんか」という設問に対しては、「機会があれば、利用したい」という方が63.4%、「現在利用しており、今後も利用したい」という方が22%、「今後は利用したい」が9.8%で、利用に関しては前向きに考えていただいているという状況でした。さらに「今後このようなバス体験イベントが開催された場合、参加されますか」という設問については、「参加したい」が61%、「都合が合えば、参加したい」が34.1%で、9割以上の

方が参加をしたいという回答でした。

自由意見については、たくさんいただくことはできませんでしたが「楽しかった」という回答が多かったです。

子どもを対象とした利用促進策の報告につきましては以上でございます。

社会長 : ありがとうございます。

ただいま7月19日(日)にぼんちまつりの特設会場にて行った「子どもを対象とした利用促進策について」報告がありました。当日は天候にも恵まれ、暑い1日でしたが、多くの親子連れにご来場いただき大変好評だったと思います。運営に当たられた主催者の皆さんに感謝申し上げます。

皆様方からご質問等ありましたら承りたいと思います。いかがでしょうか。

長南委員 : 質問ではありませんが、アンケートの中で体験して良かったという回答が多いので、実際に体験するとバスに乗ってみようという気持ちになるとと思います。こういう機会をどんどん増やしていかなければならないと思います。

前回は提案させていただきましたが、学校や保育園・幼稚園との協力という可能性について、どのように考えているのかお答えいただけたらと思います。

田中課長 : 昨年度も公共交通会議において、バスの乗り方教室等の利用促進を学校でできないだろうかという話が挙がり、教育委員会と話をしましたが、授業の一部でやることは厳しいということでした。今後においても子どもたちを対象としたイベントができると思いますので、北見バスさんと相談をしながら色々な方法で進めていけたらと思います。

社会長 : その他ございませんか。

それでは「子どもを対象とした利用促進策について」は終了します。

4. 報告事項(1) 公共交通利用促進について ~北見市交通マップの見直しについて~

社会長 : 次に2つ目の「北見市交通マップの見直しについて」事務局より説明をお願いします。

芝崎氏 : 「北見市公共交通マップの見直しについて」ということで、資料2と別紙でお配りしています。見直しの途中段階ですがマップを用意させていただきました。照らし合わせながらご覧ください。

資料2の1ページ目に「見直しの現状の概要」とあります。公共交通会議幹事会にて議論をしながら見直しを進めていますが、これまでの経緯を紹介させていただきます。既存の北見市交通マップは平成25年3月に発行したもので、A2サイズ、両面フルカラーです。バスターミナルや行政機関窓口にて配布をしており、毎年少しずつ刷り増しながら製作を行い、現在までに14,500部の印刷をしています。

今回の見直しに係る幹事会での検討結果をオレンジ色の枠の中に書いています。既存の交通マップについてはバスに乗っていない方を対象にした情報が網羅されているため、大幅な見直しは行わず一部のバージョンアップを行った方が良いのではないかとということでした。手法としては、現マップを基本として主に「目的地別行き方ガイド」と時刻表が分からなかったため、QRコードで紹介できるような追加を行うのがいいのではないかと意見がまとまりました。どのように見直すかについて記載されており、「目的地別行き方ガイド」については、レイアウトをより分かりやすくし、北見駅周辺に目的地を設定する方もいるということに記載することと

し、路線名を整理して省スペースで掲載するということでした。

「時刻表のQRコード」については北見バスのホームページにつながるQRコードを掲載し、Webサイトにおいて路線一覧ページを用意し、各路線の時刻表につながるようにするということでした。

そのほか、相内地区・上常呂地区・仁頃地区の詳細図が載っていますが、バス停の連続性や地理的な場所が全体の図として分かるように工夫をすること、「対象路線一覧」も整理し、バスのICカードサービス内容の掲載し、表紙もリニューアルすることとなりました。

2ページ目にどこの箇所を直すかが赤い枠と表で分かるようにしています。表紙については新しいデザインにし、2番目の緑色の枠に囲われている北見自治区地図についてはQRコードを掲載するという形です。相内地区・上常呂地区・仁頃地区については詳細図を掲載していません。あと、郊外路線の路線図一覧は削除し、お支払い方法にはバスのサービス内容を追加するということでした。「目的地別行き方ガイド」については修正を行うということでした。別紙に現時点までで見直しをした状態のものを用意させていただきました。青色の表紙がついている面の常呂自治区・留辺蘂自治区については地図の中に路線名が付いていますが、その下に起終点を掲載し分かりやすくしました。右上の「目的地別行き方ガイド」について、左側に施設名と電話番号、その次に最寄りのバス停、路線名という順になっており、どこに行きたいかで路線を探せるようレイアウトを変更しました。その下段の支払い方法についても、バスのICカードの割引情報などを充実させ掲載しました。この面においても下の方にQRコードを掲示しています。

緑色の枠の北見自治区の地図の面ですが、QRコードで簡単検索ということで時刻表につながるQRコードを掲載しています。また、相内地区・上常呂地区・仁頃地区という3つの市内から離れた場所の詳細図を掲載していますが、それが地理的にどの辺にあるのかというのを「至仁頃」などと表記させていただき、矢印・番号・英数字で分かるように修正をしています。

ちなみにQRコードですが、資料2の最後のページに書いています。多数の市内路線があるためスマートフォンでQRコードを読み込んだ場合、スマートフォン用の北見バス時刻表一覧ページに飛び、そこからそれぞれの時刻表にリンクする形でQRコードを1つにまとめて掲示することを予定しています。

また、バス停名の変更や北見市民プールができたことにより、いくつか地図の修正を進めているところです。まだ修正していないところも今後進めていきたいと思っています。

発行時期については、北見バスのホームページの改定などの状況を踏まえ、年度末を予定しており、そういった情報も盛り込みながら新しいバスマップとして発行していきたいと考えています。

以上です。

辻会長 : ただいま事務局から「北見市交通マップの見直しについて」報告がありました。平成25年3月に発行され、大変好評をいただいております。さらに、見やすく使いやすくということで、幹事会において継続的に協議いただき、進捗状況について報告をいただきました。お手元にあるA2版を見ながら皆様からアイデアやご意見をいただきたいと思います。

高畑委員 : 「お支払方法について」というところに、タイトルが「北見市中心街100円引き」というものが2つあるのですが。

芝崎氏 : 情報が重複してしまいました。上の方を削除します。すいませんでした。

高畑委員 : もう1点。無料バス乗車証の関係なのですが、現在見直しがかかっている中で表現が変わる要素が出てくるかもしれません。文言の変更があればお知らせしたいと思います。

辻会長 : そのほか、ございませんか。

無いようですので、引き続き幹事会において作業を進めていただきたいと思います。

4. 報告事項(1) 公共交通利用促進について ~特定路線の利用促進策について~

辻会長 : それでは本日3つ目の事項ですが、「特定路線の利用促進策について」事務局から説明をお願いします。

芝崎氏 : 資料3の「特定路線の利用促進策について」です。

「検討の経緯」につきまして、前回の公共交通会議に特定路線として夕陽ヶ丘線で展開することを決定いただき、具体的な内容について幹事会で検討を進めてきました。6月12日の幹事会の検討では、対象は高校生・高齢者向けに利用促進をしたらどうかというお話がありました。特に高齢の方にもバスの乗り方を知らない方がたくさんいるということで、バスを安心して利用いただくための乗り方教室を企画するというご意見をいただきました。ただ70歳以上の方は、現状では運賃が無料であるため、運賃収入には直結しないのですが、高齢の方にもっとバスに乗っていただき、バスが便利であることをPRしてもらい、利用の底上げを図っていくことも大切な利用促進の目的であるという議論に至りました。

8月12日に幹事会を開催し、さらに具体的な内容を議論させていただきました。高齢者を対象としたバスの乗り方教室を実施する場合、夕陽ヶ丘線沿線で活動する1~2箇所の高齢者クラブで実施してはどうかというお話でした。また、高齢者クラブの協力については、北見市老人クラブ連合会を通し連絡をすると協力いただけるのではないかとということでした。夕陽ヶ丘線の試乗会として、試乗会用のバスを北見バスさんにご用意いただき、ICカードの使い方や夕陽ヶ丘線を1周巡り、施設や病院がどこにあるのかを学びながら乗っていただくのが良いのではないかなどの議論がなされました。また、利用促進を図るということで、その高齢者クラブの最寄りのバス停の時刻表や夕陽ヶ丘線の路線図などを配布することが利用につながるのではないかとということでした。また、効果の検証については、事後アンケートを実施し効果を把握していきたいと思っています。

「バス利用者の属性整理」については、高齢者は65歳以上ですが、現状ですと65歳~69歳までが有料で70歳以上は無料という2つの属性の高齢者の方を対象に利用促進を図っていききたいと思っています。留意点としては健康に対する意識が高いということ、運賃無料の方が多いので、昨年度までは無料乗車券を配布していましたが、それ以外のインセンティブの提供が必要になると考えられます。

その下のページですが、具体的な実施内容ということで、今、お話しさせていただいたものを整理しました。手法としては夕陽ヶ丘線沿線の高齢者クラブにご協力をいただき、バスの乗り方教室・夕陽ヶ丘線試乗会・健康に関する座学などを実施し、利用促進を図っていききたいと思っています。対象地域は夕陽ヶ丘線沿線にお住いの高齢者の方ということで、右側の「高齢者クラブ」一覧から1~2箇所程度を抽出して実施したいと考えており、北見市老人クラブ連合会にご相談をさせていただきながら協力いただけるクラブを選定します。内容は、「クルマと

健康」や「クルマと事故」に関するお話を座学でさせていただき、その後、バスの乗り方教室及び夕陽ヶ丘線の試乗を予定しています。時期は雪が降る前と想定していますので、平成27年10月頃を予定しています。配布するツールについては、動機付け冊子・交通マップ・実施クラブ付近のバスの時刻表や路線図を予定しています。調査は、乗り方教室実施時に参加された方にアンケートを行い、その後、1～2ヶ月程度経ってから事後アンケートをお配りして調査したいと思っています。効果検証としては、夕陽ヶ丘線の乗降データを整理しますが、1～2箇所の高齢者クラブを対象とした教室の実施なので、乗降データでの変化をみることは難しいかと思われ、事後アンケートでの意識の比較分析を行い、効果を把握していきたいと考えています。

最後のページに、旭川市で実施した高齢者を対象とした乗り方教室のプログラムを参考として載せています。昨年の2月7日に末広というところの住民を対象に実施しました。こちらは座学として「かしこいクルマの使い方」ということで「①クルマと環境」「②クルマと事故の話」「③クルマと費用の話」をお話し、「④ICカードによるバスの乗り方」をご紹介しました。その後、実際に路線バスに乗りいただき街中まで行き、バスICカードの自動販売機の見学なども実施しました。こういったものを参考に北見らしい高齢者向けのバスの乗り方教室のプログラムを作っていきたいと思っています。

以上でございます。

社会長 : ありがとうございます。

事務局から「特定路線における利用促進策について」、今年度においても夕陽ヶ丘線を対象に実施をするということで、幹事会における実施内容の検討結果、夕陽ヶ丘線沿線の高齢者クラブを対象にバスの乗り方教室を開催し、バスの利便性を知らいただくことで利用者の底上げを図っていこうということでした。これについて委員の皆様からご意見、ご質問をいただきたいと思います。

長南委員 : 夕陽ヶ丘の高齢者クラブで行うという案は良いと思います。実施する高齢者クラブ付近のバス停の時刻表や路線図を配布するというのですが、その高齢者クラブにどれくらいの方が来ているのかが分からないということもあります。1箇所のバス停ではなく何箇所かのバス停があると思います。そういう複数のバス停のことを路線図に反映していただき使っていただくと良い効果が出るかと思っています。

以前に、そのような路線図を配ったらどうかと提案させていただきましたが、まずは高齢者クラブからやっていただき、効果があれば発行ということも将来的に考えていただけたら良いと思います。

社会長 : ありがとうございます。

広川委員 : 北見市老人クラブの小林事務局長に公共交通会議の中でこういう話が進んでいて、市役所の公共交通会議事務局から連絡がありましたら協力してくださいと話をしたところ、「お話がありましたら相談に乗ります。」ということでした。

社会長 : ありがとうございます。

その他ございますか。よろしいでしょうか。

それでは、このような内容で進めさせていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

5. その他

次に「5. その他」に入りたいと思います。委員の皆様から何かございますか。

長南委員： 北見市の交通マップが発行されるのが年度末ということで、裏表の限られた紙面ですから、これ以上の情報を掲載することは難しいと思いますが、観光について、観光協会や市の観光課で作られるパンフレットやチラシの中に、公共交通のバス路線の情報を入れてもらいたいということを観光の担当者にもお願いをしていくことが必要ではないかと思っています。

田中課長： 観光担当にご意見があったことをお伝えし、協力をお願いしたいと思います。

辻会長： ありがとうございます。その他ございますか。

無いようですので、次回会議の開催について事務局からお願いいたします。

田中課長： 次回会議の開催につきましては11月中旬での開催を予定しています。案件については「公共交通の利用促進」、「地域公共交通確保維持改善事業・事業評価」等を予定しています。ご案内については改めて送付させていただきますのでよろしくお願いいたします。

辻会長： 本日予定しておりました内容については全て終了させていただきました。

以上を持ちまして第3回北見市公共交通会議を終了させていただきます。

ありがとうございました。(14:50)